

エンタメ業界の照明演出技術を 農業分野に活用

ヴェーナスレーザー
Venus Laser

ヴェーナスレーザー（千代田区外神田、奥平賢浩社長、03・5826・4561、<https://venuslaser.jp>）は、日本では数少ない、照明やレーザーを使用したショーの企画運営会社だ。その実績は、世界遺産や国宝など大規模なものから、歌番組やコンサート、またイルミネーションショーなど多岐にわたる。さらに、ショーに使用する機器やシステムの開発も手掛けており、ショープログラミングのソフトウェア開発と独自のレーザー機器などのハードウェア開発の両方を得意としている。

コロナ禍でショーの開催が減るなか、「防鳥にレーザービームが有効」という話を聞き、農業分野に同社の技術が活かされないかと考え、屋外用の監視カメラにレーザー機器を搭載、安全かつ効果的なレーザービームの描画パターンをプログラムした製品を開発した。

製品をWEB上で紹介したところ、農業新聞や建通新聞への掲載、さらには各種の専門サイトへ連鎖

的に掲載されるなど、予想以上の反響があった。「新聞掲載された日は、朝から電話が鳴り止まず、弊社の技術が農業分野に活かせるという確信を得ることができた」と奥平社長は語る。現在はこの製品に「レーザーかし」と名付けて販売し、さらに農家からの要望でソーラーパネルを搭載した製品の開発を行なっている。このソーラーパネルを搭載する技術は、今後ショーにも活かしていく方向で、日中に充電したエネルギーで、夜にショーを披露するといった、国内初のカーボンニュートラルな光のショーを企画している。



害鳥対策用最新レーザー機器
「レーザーかし」